

科目名	ICDコーディング II						
Course Name	International Classification of Diseases Coding II						
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	菊池 優子						
連絡先(質問等)	講師室1Fかメールで対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2、DP5、DP6						
授業の概要と到達目標	<p>DPC を取り入れている医療機関にとって欠かさない ICD コーディングのさらなる知識および応用力の習得を図る。</p> <p>① ICD-10・ICD-9-CM に関するコーディングの知識を習得し疾病および処置の分類ができるようにする。</p> <p>②DPC 算定による ICD コーディングの必要性を説明できるようにする。</p> <p>③症例に基づく分類方法を理解できるようにする。</p>						
授業の方法	診療科別の疾患及び手術に関連する講義・演習問題を通じて、ICD コーディングの上級レベルの習得を図る。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	ICD コーディング検定2級に合格できる。					
	L04	英訳の疾病を読み解きDPC請求を習得することができる。					
課題に対するフィードバック	テストの結果を返却し、必要に応じて解説を行う。						
教科書/参考図書	ICD コーディング応用テキスト(日本コーディングセンター)						
履修上の留意点やルール等	●演習問題が中心となる。PC 操作の基本を理解すること。ICD コーディング検定を受験する場合は必ず履修すること。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回90分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験 (職種:診療情報管理士 職歴:19年) 症例や ICD コーディング算定指導に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	基礎知識・演習を理解している。授業に集中して取り組んでいる。			20	
レポート/作品					
発表					
小テスト	授業の進捗に合わせ随時確認テスト行い、理解度に応じて評価する。			20	
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。				50
その他	検定試験の合否により加点する。				10
合計				40	60

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・概要説明 PC操作について
	事前・事後学習	事前:コーディングソフトの使用方法 事後:疾病及び手術処置のコーディング練習
2	授業内容	感染症及び寄生虫症・新生物のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 5～19 ページ 事後:演習問題1、2の練習
3	授業内容	血液・免疫疾患・内分泌疾患等のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 21～33 ページ 事後:演習問題 3、4 の練習
4	授業内容	精神及び神経系疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 35～45 ページ 事後:演習問題 5、6 の練習
5	授業内容	手術処置に関連するコーディングの解説
	事前・事後学習	事前:テキスト 145～150 ページ 事後:処置分類の方法について学習
6	授業内容	手術処置のコーディング演習
	事前・事後学習	事前:テキスト 151～152 ページ 事後:演習問題 21 の練習
7	授業内容	眼・耳の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 49～53 ページ 事後:演習問題 7 の練習
8	授業内容	循環器系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 55～61 ページ 事後:演習問題 8 の練習
9	授業内容	呼吸器系及び消化器系疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 62～75 ページ 事後:演習問題 9、10 の練習
10	授業内容	皮膚・筋骨格系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 77～89 ページ 事後:演習問題 11、12 の練習
11	授業内容	腎尿路生殖器系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 92～95 ページ 事後:演習問題 13 の練習
12	授業内容	妊娠・分娩・産褥に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 97～101 ページ 事後:演習問題 14 の練習
13	授業内容	新生児の病態に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 103～107 ページ 事後:演習問題 15 の練習
14	授業内容	先天奇形及び症状についてのコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 111～113 ページ 事後:演習問題 16 の練習
15	授業内容	症状・徴候・異常臨床所見に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 115～117 ページ 事後:演習問題 17 の練習
16	授業内容	損傷・中毒に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 119～125 ページ 事後:演習問題 18 の練習
17	授業内容	傷病及び死亡の外因に関するコーディング (小テスト①)
	事前・事後学習	事前:テキスト 129～141 ページ 事後:演習問題 19、20 の練習
18	授業内容	症例に基づくコーディング(症例1～5)
	事前・事後学習	事前:テキスト 155～157 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
19	授業内容	症例に基づくコーディング(症例 6～10)
	事前・事後学習	事前:テキスト 157～159 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
20	授業内容	症例に基づくコーディング(症例 11～15)
	事前・事後学習	事前:テキスト 160～162 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
21	授業内容	症例に基づくコーディング(症例 16～20)
	事前・事後学習	事前:テキスト 162～164 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
22	授業内容	症例に基づくコーディング(症例 21～25)
	事前・事後学習	事前:テキスト 165～167 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
23	授業内容	症例に基づくコーディング(症例 26～30)

	事前・事後学習	事前:テキスト 167～169 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
24	授業内容	症例に基づくコーディング(症例 31～35)
	事前・事後学習	事前:テキスト 170～172 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
25	授業内容	症例に基づくコーディング(症例 36～40) (小テスト②)
	事前・事後学習	事前:テキスト 172～175 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
26	授業内容	症例サマリーのコーディング (1～4)
	事前・事後学習	事前:テキスト 178～182 ページ 事後:退院サマリーによるコーディング練習
27	授業内容	症例サマリーのコーディング (5～8)
	事前・事後学習	事前:テキスト 183～187 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
28	授業内容	症例サマリーのコーディング (9～12)
	事前・事後学習	事前:テキスト 188～194 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
29	授業内容	症例サマリーのコーディング (13～16)
	事前・事後学習	事前:テキスト 195～199 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
30	授業内容	学習のまとめ
	事前・事後学習	試験に備えてのコーディング練習